



御前崎市



子どもたちの夢と希望があふれるまち御前崎

第2次 御前崎市総合計画

2016▶2025

ごあいさつ



御前崎市では、平成 16 年 4 月に市制を施行するとともに、平成 18 年 3 月に策定した第 1 次御前崎市総合計画に基づき、「海と緑と笑顔が きらり輝く 御前崎」の将来都市像を目指し、平成 18 年度から平成 27 年度までの 10 年間、まちづくりを実施してまいりました。

この間、平成 20 年 9 月からの世界的な金融危機を受けた急激な景気の落ち込みや、平成 23 年 3 月の東北地方太平洋沖地震による原子力災害。また、これによる浜岡原子力発電所全号機の停止など、第 1 次総合計画を推進していく中では想定していなかったことも発生しました。

また、少子高齢化の進展や人口減少社会の到来、社会経済活動の広域化、地域コミュニティの希薄化、南海トラフ巨大地震への防災対策、エネルギー問題など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

これらの社会の潮流や課題を踏まえ、御前崎市では、市民の皆様がしあわせを実感でき、また、将来の御前崎市を担う子どもたちが夢や希望を抱くことができるまちづくりを推進するため、「子どもたちの 夢と希望があふれるまち 御前崎」を将来都市像に掲げました。子どもたちが自慢できるふるさとを残すことを念頭に、美しい自然を次世代へ引き継ぎ、御前崎市の魅力と活力あふれるまちづくりを目指し、平成 37 年度を目標年次とした第 2 次御前崎市総合計画を策定いたしました。

計画の策定にあたっては、総合計画審議会委員や基本構想策定委員、市民ワーキング委員などさまざまな年代、分野の市民の皆様のご協力を賜るとともに市民アンケート調査などによる貴重なご意見をいただきました。

これからは、この第 2 次総合計画に掲げた将来都市像を実現するため、市民の皆様とともに「オール御前崎」で推進してまいります。

最後に、この計画策定に関わっていただいた多くの市民の皆様に、心からお礼申し上げます。

平成 28 年 3 月
御前崎市長 石原 茂雄

市民憲章

- 1 わたくしたちは、きまりを守り、心ふれあうまちをつくります。
- 1 わたくしたちは、自然を愛し、安らぎのあるまちをつくります。
- 1 わたくしたちは、働くことに喜びをもち、健康な心と体をつくります。
- 1 わたくしたちは、学ぶ心を大切にし、薫り高い文化をつくります。
- 1 わたくしたちは、未来をみつめ、世界にひらかれたまちをつくります。

市章



全体の形は、御前崎市の「O」と「オ」です。
ブルーは遠州灘を、オレンジは太陽を、太陽へ向かう白地の形は先進性を表し、市民と協力と情熱で世界へ発信するイメージを表しています。
(平成 16 年 8 月 1 日制定)

市の花「ハマヒルガオ」



市内の海岸砂地に自生し、5～6月に薄桃色の花を咲かせる蔓性の海浜植物。厳しい環境の中で、大地にしっかりと根を下ろし、可憐な花を咲かせるハマヒルガオのように市民が太い絆で結ばれ、賢くやさしい情愛あふれる市民になることを願うものです。

市の木「ヤマモモ」



市内に自生し、6月頃、甘酸っぱい実をつける常緑の高木。

痩せ地にも耐え、周囲を自然災害から守る潜在能力をもち、雄株と雌株が協力し合って実を結ぶヤマモモのように男女共同参画のもとに自立できる都市づくりを願うものです。

マスコットキャラクター「なみまる」・「ふうちゃん」



遠州七不思議にある波小僧伝説をモチーフにしたマスコットキャラクター「なみまる」とそのお友達の「ふうちゃん」です。平成26年度に市政10周年を記念して誕生しました。なみまるは健康御利益、ふうちゃんは恋愛成就のパワーを秘めているといわれています。

御前崎市歌「わがまち御前崎」



御前崎市のイメージを創出し、親しみやすく市民みんなが口ずさめる歌として、平成18年度に作成しました。一般公募に寄せられた歌詞を採用しています。

- | | | |
|---|---|--|
| 1 朝日に映える 駿河湾
岬のまちに日が昇る
未来を開く灯台の
希望の光指すところ
輝くまちよ 御前崎
潮の香りの似合うまち | 2 はるかに望む 富士の山
緑豊かな茶畑に
新たな芽生え 生まれ来る
未来の光 さんさんと
笑顔あふれる 御前崎
お茶の香りの似合うまち | 3 ハマヒルガオに 砂小僧
海鳴り響く遠州の
風の強さよ たくましく
明日に羽ばたけ 若い夢
望みあふれる 御前崎
光と風の似合うまち |
|---|---|--|

目 次

序論

第 1 章 計画策定にあたって	1
1 計画策定の目的	1
2 計画の構成と期間	3

第 1 編 基本構想

第 1 章 将来都市像	5
第 2 章 将来の人口と出生率の目標	6
第 3 章 将来都市像を実現するための分野別の基本目標	8
第 4 章 都市構造と土地利用	12

第 2 編 基本計画

第 1 部 基本計画の策定にあたって	15
1 基本計画の位置づけ	15
2 基本計画の構成と期間	17
3 御前崎市を取り巻く状況と第 1 次御前崎市総合計画の振り返り	17
4 将来に向けての課題と第 2 次総合計画策定の方向性	20
5 策定の経緯と計画の柱	24

第 2 部 分野別施策	26
1 基本計画における施策の体系	26
2 施策評価の指標と運用	26

第 1 章 美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち	28
豊かな自然環境の保全	29
快適な生活環境の整備	33
安全・安心な地域づくり	46

第 2 章 市民協働による居こちのよいまち	60
市民がくつろげる空間の保全と充実	61
災害に備えた生活基盤の充実	65
道路施設の長寿命化体制の確立	70

第3章 すべての人が健康で安心して暮らせる 支え合うまち	74
安心して出産・子育てができる環境整備	75
心と体の健康づくり	80
地域が一体となった介護体制の整備	82
だれもが社会参加できる環境整備	84
信頼される医療体制の確立	89
生涯スポーツの推進	96

第4章 働く場所とにぎわいがたくさんあるまち	98
豊かな自然を生かした観光の推進	99
特色を生かした農水産業の振興	103
活気ある商工業の振興	109
にぎわいのある港の創出	113

第5章 郷土を愛し 未来を創る 人づくり	116
スクラムで推進する御前崎の教育	117
スクラム・スクール・プランで推進する子どもの育成	123
誰でもいつでもどこでも学べる生涯学習の推進	134

第6章 市民とともに経営する自律したまち	140
市民力・地域力・行政組織力の向上	141
公共施設マネジメントの推進	150
健全で効果的な財政運営	153
安全性・透明性の高い情報活用	156
広域連携による効率的な行政運営	162

第3編 資料編

総合計画策定体制	165
総合計画策定経過	166
総合計画条例	167
総合計画審議会条例	168
総合計画審議会委員名簿	169
総合計画審議会諮問・答申	170
基本構想策定会議等委員名簿	174
市民参加による総合計画の検討	177
市民満足度調査	181
市民アンケート	182
総合計画体系図	186